

台風19号 各地での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～12月21日までに集まった支援募金は約4,600万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。またお取引先の皆さまからも100万円を超える支援金をいただいています。皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

<産直りんご生産者グループ「ハケタ会」・「信濃五岳会」>

「ハケタ会」では17名中10名が決壊した千曲川流域（赤沼地域：新幹線が冠水した地域です）に住んでおられます。家屋・りんご園・倉庫・農機具全てが浸水してしまいました。「信濃五岳会」は、決壊した地域と反対側の地域のため家屋や農機具への被害は免れましたが、千曲川沿いにあった生産者の園地（りんご・桃・ネクタリンなど）は全て浸水しました。

<台風19号 長野支援の活動報告>

皆さまからの支援募金は被害を受けた生産者の支援に活用させていただいています。発生から12月下旬まで、継続した支援ができたのも皆さまからの支援があったからです。本当にありがとうございます。発生後から年内までの活動報告をお届けするとともに、引き続き支援をお願いします。ハケタ会・信濃五岳会の皆さんは今年（2020年）、組合員へりんごをお届けできるように日々復興に向けて頑張っています。



<10月13日未明>

千曲川決壊によって、りんごの木が見えなくなる高さまで大量の水が流れ込みました。被害を受けたりんごは、出荷できませんでした。一年かけて育ててきたけど、すべてがダメになりました。過去にない水害です。

<10月17日～ 支援開始>

まずは自宅の片づけから開始しました。倉庫や畑に入った土砂かきも行いました。衣類、生活必需品、食料などをお届けしました。温かいお弁当もワーカーズの手で作り、お届けしました。



<12月下旬>

長野は雪のため、畑の土砂出しの作業をするには厳しいです。（畑がドロドロでトラックが入れません）

<10月下旬～12月下旬>

たくさんの産直生産者が駆けつけ、畑の土砂出しなどの支援を行いました。約35名の生産者に支援をいただきました。本当にありがとうございます。

寒さが強まる中、被災地では、まだ自宅で生活できない世帯、自宅に戻れても台所とお風呂が使えない世帯があります。

グリーンコープは引き続き被災された皆さんを応援していきます。

<11月9日、10日>

組合員を代表してグリーンコープ共同体代表理事の熊野千恵美さんが被災されたハケタ会の10名の生産者宅と信濃五岳会を訪問しました。熊野代表理事からはグリーンコープの組合員が心配して、居ても立っても居られないので来ましたとのお言葉に生産者の皆さんから感謝の言葉を頂いています。

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。グリーンコープ災害支援の内容はInstagram「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。



台風19号災害支援募金

専用申込書に印字しています。数量（口数）を記入ください。
【例】一口200円を数量欄に「2」と申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

申込番号

010

一口200円

011

一口500円

<早期予約りんごの今後のお届け予定>

◇43号～48号「ふじ」(3Kg・5Kg・10Kg)

年内は一部規格変更などでお届けとなりました。ご迷惑をお掛けしまして申し訳ありませんでした。年明けは予定どおり規格を変更せずにお届けできる見込みです。

ただし、農薬を減らして栽培した「りんご(ふじ)」の確保量が少なく、不足する可能性があります。不足する場合は、産直産地「津軽みらい農協石川」の通常栽培をお届けさせていただきます。商品お届け時のチラシにてご確認をお願いします。

<りんご利用代金の3%は被害を受けた生産者の支援として活用します>

台風19号の被害は家屋や建物に加え、りんご園地にも甚大な被害をもたらしました。今季収穫できるものがなく、収入もありません。そこでグリーンコープでは、組合員の皆さまが利用されたりんご(全品目を対象)代金の3%を生産者への支援金として活用させていただきます。今年(20年産)も安心・安全な「産直りんご」を栽培いただけるようにみんなでたくさん食べて、生産者を応援しましょう!

<産直りんご カatalog GREENの企画予定>

早期予約をご注文(25号～27号)いただいた方へ優先してお届けするため、「産直りんご(ふじ)」は年明け分も取り扱い品目を減らして企画しています。現時点での見通しのため、予想より注文が増えたり、収穫量が少なかったりした場合は規格変更やお届けできない場合があります。あらかじめご了承ください。

45号

注文書提出日: 1月20日～1月25日

配達日: 1月27日～2月1日

◇産直りんご(ふじ) 規格外2kg 申込番号058

◇産直りんご(サシャ) 750g 申込番号059

◇産直りんご(金星) 500g 申込番号060

◇産直りんご(王林) 900g 申込番号061

～引き続き支援を行っていきます～

東日本大震災の被災地でも台風19号、台風21号の被害が発生しています。早期復興が東日本大震災の被災地を応援することに繋がります。

<岩手県山田町: 田の浜仮設>

<宮城県丸森町: ひまわり、たんぼぼこども園>

12月18日に田の浜仮設の談話室でサロン活動を行いました。

この間、東日本大震災時に設置された仮設住宅に急遽避難入居されている世帯を対象に正月飾り作りをしました。

正月飾り作りには、宮城県女川町のコミュニティスペースうみねこから応援に駆け付けていただき、皆さん楽しく、上手に出来上がって喜ばれていました。

12月28日に正月用の餅、きな粉、あんこ等を皆さんにお届けしています。



現在入居されている仮設住宅は、東日本大震災時の仮設住宅で2020年1月末が最終退去日になっており、今後どのようにしていくのか未定の状態であり、仮設住宅に避難されている皆さんは不安な状態が続いています。今後も見守り支援を行いながら必要な支援を行っていく予定です。

11月30日にクリスマスツリーをお届けし、12月4日にツリーへの飾りつけを園児が行い、12月19日にクリスマス前のお楽しみ会を開催し、共生地域創造財団(グリーンコープが設立母体の東日本大震災支援団体)メンバーから、お菓子のプレゼントをお届けしています。

現在、被害にあった「たんぼぼこども園」は復旧工事に時間が掛かる為、それまでの間、ひまわりこども園に同居運営になっています。

<福島市郷野目地区支援: NPO法人花見山を守る会周辺地域支援>



阿武隈川支流の濁川の決壊で郷野目地区約100世帯で浸水し、酷いところは2階まで冠水していました。東日本大震災復興支援で市民の憩いの場である花見山を守る取り組みで出会った、花見山を守る会の高橋代表の事務所も1階天井まで水没し、障がい児放課後デイサービス施設、通所介護事務所、販売車輛30数台が水没し、近隣の住宅でも大きな被害が発生しました。

被災地域の瓦礫撤去、物資支援を行われ、グリーンコープからも衣類、食料等の物資支援、片付け支援を行っています。まだまだ、復旧には時間が掛かる様子にあり、12月21日にグリーンコープ共同体熊野代表理事から義援金をお届けしています。

(左から1人目: 花見山を守る会の高橋代表、左から2人目: 熊野代表理事)